



NEWS RELEASE

2012年2月10日
東ソー株式会社

四日市事業所でハイシリカゼオライト製造設備の生産能力を倍増

～自動車排ガス処理触媒の需要拡大に対応～

東ソーはこの度、四日市事業所（三重県四日市市）において合成ゼオライトの一種であるハイシリカゼオライト（HSZ[®]: High Silica Zeolite）製造設備の生産能力増強を決定しました。本年2月に着工、2013年3月の完工を予定しております。これにより四日市事業所における生産能力は倍増となります。投資金額は約30～40億円で、経済産業省の国内立地推進事業費補助金の交付先として採択が決定しております。

東ソーの合成ゼオライト事業は、強い吸着性能や気体吸着性能を有し、多分野にわたって乾燥剤や吸着剤として使用されている「ゼオラム[®]（商品名）」と、この度生産能力を増強する「HSZ[®]シリーズ（商品名）」により、総合ゼオライトメーカーとしての地位を築いています。

HSZ[®]はゼオラム[®]に比べ、シリカ/アルミナ比が高く、任意にその比率を変化させることにより、吸着性能や触媒性能を変化させることが可能な合成ゼオライトで、高耐熱性や耐酸性を有することから、石油精製・石油化学分野の触媒として主に使用されてきました。昨今、環境負荷軽減を目的として自動車排ガス処理触媒や揮発性有機化合物（VOC）の吸着除去剤などの環境浄化分野での用途が拡大しています。特に自動車排ガス処理触媒では、日本、米国、欧州ともに自動車排ガス中の窒素酸化物（NO_x）や炭化水素（HC）などの排出規制が強化されてきており、自動車排ガス処理触媒に適したHSZ[®]の需要は、今後も益々拡大する見込みです。

HSZ[®]は当社の高機能材料事業の主力製品のひとつで、1986年に南陽事業所（山口県周南市）で生産を開始し、旺盛な需要に対応すると同時に、高シェア商品における一拠点生産体制のリスク回避のため、2009年3月に四日市事業所に新規製造設備を完工させ、生産能力を倍増していました。この度の生産能力増強により、HSZ[®]全体の生産能力は約50%増となり、世界トップクラスのシェアを目指します。

東ソーの高機能材料事業は合成ゼオライトのほかに、マンガン酸化物、ジルコニア、石英ガラス、スパッタリングターゲットを有しており、今後も更なる事業規模の拡大と収益力の強化を図っていきます。

以上

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>